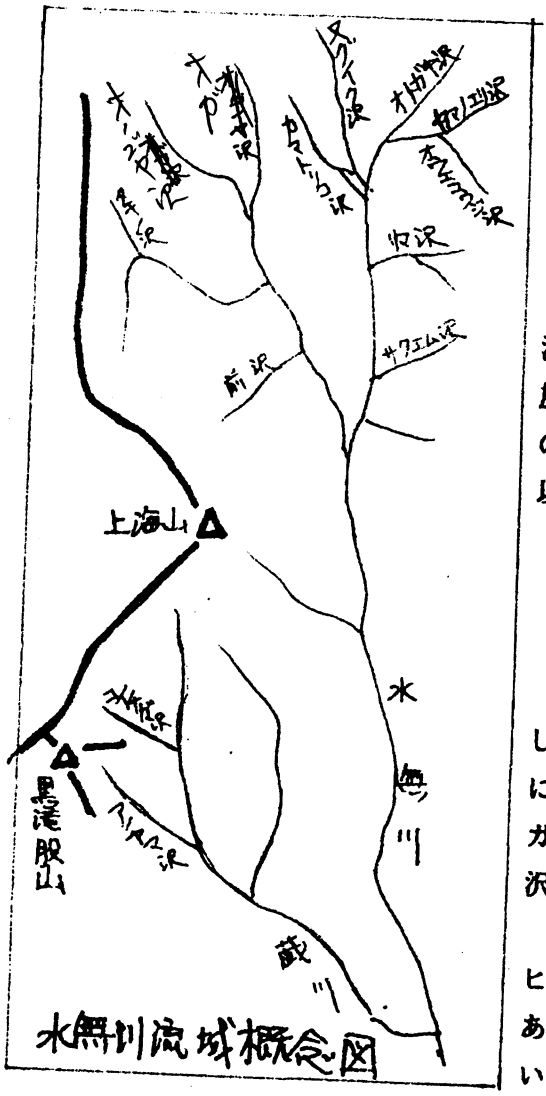
る。ここからは切り通しにそって尾根筋を快適に滑る。まわりはブナ林である。雪は少なく，所々ブッシュが滑りの邪魔をする。大台野林道に出るころには雪はなくなってしまった。

林道に出たのは13:05。あっという間の滑りであった。宮様コース入口の標識は木が腐って倒れていた。これでは初めての人は当然見逃してしまいそうである。この時間になると気温も上がり，春スキーの気分を充分に味わうことができた。

車に戻り一服して，明日の目的地である鳥海ブルーラインの大平に向かう。

（記・　　）



4．水無川流域の沢

福島登高会1986年の夏合宿は，水無川流域（福島県田島町）の一斉遡行の形で実施した。２日間で16本の沢を遡行し，この地域の沢の概念をつかむことができた。以下，その時の記録を紹介する。

オノゴヤ沢

1986年7月26日

L:

タキノ沢へ入るパーティを途中で降ろし，オノゴヤ沢出合の少し先の道路わきに車を止め，カレ沢を下っていったんオガ沢に降り，少し下降してからオノゴヤ沢に入る。

砂防ダム３つを越えた先に$F_1$４ｍ。ヒョングリ滝である。ここからその先にある砂防ダムまでは，道が左岸についていて，沢の興味はそがれる。おまけにそ